



Banco MUFG Brasil S.A.
Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

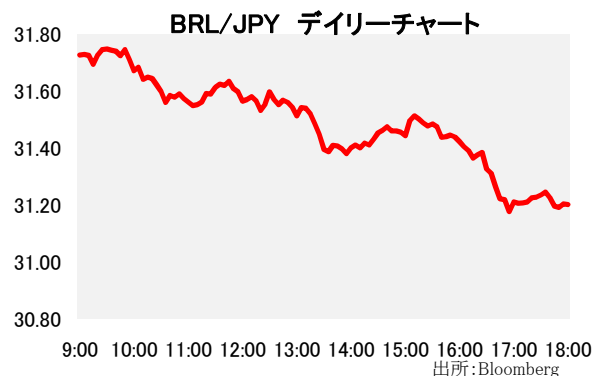
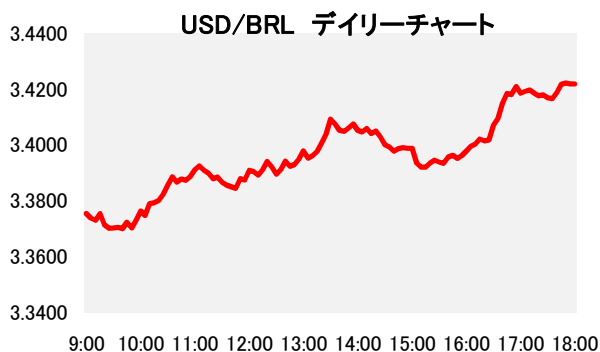
1. マーケット・レート

			4月3日	4月4日	4月5日	4月6日	4月9日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.3410	3.3300	3.3460	3.3690	3.4220	+0.0530
	BRL/JPY	Spot	31.91	32.06	32.11	31.73	31.20	-0.53
	EUR/USD	Spot	1.2270	1.2281	1.2239	1.2282	1.2319	+0.0037
	USD/JPY	Spot	106.63	106.77	107.41	106.93	106.76	-0.17
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.228	6.227	6.231	6.232	6.245	+0.013
	Future	1Year(p.a.)	6.327	6.340	6.345	6.353	6.412	+0.059
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.964	2.980	3.009	3.015	3.032	+0.017
	USD	1Year(p.a.)	3.233	3.294	3.345	3.359	3.380	+0.021
株式	Bovespa指数		84,623.46	84,359.69	85,209.69	84,820.44	83,307.23	-1,513.21
CDS	CDS Brazil 5y		165.20	165.61	163.11	166.54	169.74	+3.20
商品	CRB指数		193.209	192.342	193.808	192.251	194.969	+2.72

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	0.08%	0.06%	-0.12%
FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	0.66%	0.56%	0.15%
FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	0.85%	0.76%	-0.19%
FGV CPI IPC-S	0.21%	0.31%	0.17%
貿易収支(週次)	--	\$1461m	\$1131m



3. 要人コメント

なし	
----	--

4. トピックス

- 本日のレアルは3.3750で寄り付き、午前中に日中高値となる3.3640を付けた。収賄の罪で有罪判決を受けていたルラ元大統領が週末に連邦警察に身柄を拘束されたが、朝方の市場は落ち着いた動きとなった。但し、その後は大統領選を巡る不透明感が強く意識される中、レアルは軟調に推移。取引終盤に売りが強まったレアルは2016年12月以来の水準となる日中安値3.4220でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2018年経済成長率予想が2.84%から2.80%に下方修正され、2019年は3.00%で据え置かれた。インフレ率予想は2018年が3.54%から3.53%へ下方修正され、2019年は4.08%から4.09%へ上方修正。年末の為替レートは2018年が3.30レアルで据え置かれ、2019年は3.40から3.39へレアル高方向に修正された。
- 本日、市場の引け間際に米格付会社ムーディーズがブラジルの国債格付けを「Ba2」に据え置き、見直しを「ネガティブ(弱含み)」から「安定的」に変更した。既に他の大手格付会社2社(S&P、フィッチ)が同国を格下げしている中、市場への影響は限定的だった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。